

SJAC 9101F 様式 1: 審査報告書（第一段階審査用）

<b>様式 1：審査報告書（第一段階審査用） 記入要領</b>	
項目番号	記入内容
1	審査を実施する認証機関（CB）の名称を入力する。
2	IAQG のロゴ（初期設定）を使用する。又は、審査を実施する CB のロゴ（任意）を入力する。
3	審査日を入力する。2 日以上の場合は、審査開始日と終了日を入力する。
4	該当する場合、現地審査工数（審査日数）（又は、9120 審査に対しては現地外の審査工数）の総数を入力する [4.3.2.1 b) 参照]。シングル以外の認証構造に対して、総審査工数は、訪問したサイト毎の総工数の合計である。
5	審査報告書の番号及び作成日付を入力する。
6	組織の名称及び住所を入力する。
7	受審組織の連絡担当者の詳細情報を入力する [すなわち、組織の担当者の電話番号、E メールアドレス、氏名及び役職、Online Aerospace Supplier Information System (OASIS)データベース管理者名]。
8	第二段階審査で使用する言語に関する情報を入力する。
9	通訳が必要かどうか、“Yes” 又は “No” を示す。
10	申請された認証範囲を入力する（例えば、油圧アクチュエータの設計・開発、製造、試験及び保守サービス）。 複数のサイトをもつ認証構造に対して、サイト固有の認証範囲の記述を入力する。
11	該当する規格（すなわち、9100、9110、9120）の情報及び“適用外”と決定された箇条番号（該当するものがあれば）を入力し、9100 シリーズ規格 4.3 で要求されたとおり、理由を記載する。
12	審査チームリーダーの氏名を入力する。
13	審査基準に使用した航空宇宙品質マネジメントシステム（AQMS）規格（すなわち、9100、9110、9120）を選択し、規格の版を入力する。
14	9100 シリーズ規格 4.4.2 によって要求されたとおりに、文書化した情報が作成され、維持されていることを確認するための記述を入力する。
15	OASIS データベースにアップロードするために必要な関連情報を表に入力する。従業員数は、認証範囲に含まれる全ての従業員に基づく。
16	航空、宇宙及び防衛分野の収入が、組織の総収入に占める割合を入力する。その他の分野の割合についても入力する。
17	航空、宇宙、防衛及びその他の分野に関連する、常勤、非常勤、及び臨時雇用の従業員数を入力する。該当する場合、航空、宇宙及び防衛分野の従業員数が、組織の総従業員数に占める割合を入力する。その他の分野の割合についても入力する。
18	航空、宇宙及び防衛分野におけるシフト数、及び関連する勤務形態に関する情報、及びその他の分野に関する関連情報を入力する。
19	それぞれの顧客がどれだけ事業の割合を占めるかの表示を含む、航空、宇宙及び防衛分野の主要顧客（例えば、上位五つまで）、及び/又は 9100 シリーズ規格への適合を要求する、その他分野の顧客をリスト化し入力する。現在の顧客を（C）、また潜在的な顧客を（P）と識別する。 <b>注記</b> 機密に関する取り決めで公開を禁止している場合は、簡略化した内容を入力する。

SJAC 9101F 様式 1: 審査報告書（第一段階審査用）

様式 1： 審査報告書（第一段階審査用） 記入要領（続き）	
項目番号	記入内容
20	<p>必要に応じて、文書化した情報／参照を入力する。</p> <p><b>注記</b> 第一段階審査の前に、文書化した情報／参照を組織が入力することは許容できる。品質マネジメントシステムのために確立した組織の文書化した情報が、適用される9100シリーズ規格の要求事項に対応しているか／いないかを示すために、“Yes”又は“No”を入力する。問題や懸念領域が特定された場合はコメントを入力する。“適用外”と決定された箇条番号（欄11参照）に対しては、コメント欄に“N/A”と入力する。</p>
21	<p>主要顧客毎のパフォーマンス・データをレビューし、入力する。特に、製品／サービスの要求事項への適合性及び納期どおりの引渡しに関するパフォーマンスの傾向に焦点をあてる。情報源には次を含むことができる：顧客満足データ、顧客からの苦情のまとめ、顧客の報告書、スコアカード、主要なパフォーマンス指標（例えば、納入後の不適合、廃却、苦情、欠陥）。結果をまとめ、どのパフォーマンスが満たされ、どれが満たされていないかを入力する。</p>
22	<p>苦情を含む、収集された、適用される顧客のパフォーマンスに関する情報に追加して、一般的なコメント／さらに集約した内容を入力する。</p>
23	<p>組織に与えられた顧客／規制の承認に関する情報を入力する。</p>
24	<p>内容及び文書の参照を含めて、航空、宇宙及び防衛分野の顧客及び法規制当局による追加の要求事項に関する情報を入力する。</p>
25	<p>該当する場合、追加の航空、宇宙及び防衛分野の顧客の QMS 要求事項に関する一般的なコメントを入力する。</p>
26	<p>（該当する場合）その他の情報のレビューに関する情報を入力する。必要な場合、表に追加項目を入力する。</p>
27	<p>第二段階審査前に解決できない場合、不適合と判断され得る懸念事項の領域を入力する。</p>
28	<p>組織が第二段階審査に進めるかどうか、“Yes”又は“No”を示す。</p>
29	<p>第二段階に進めないと判断したときは、その理由を入力する。</p>
30	<p>第二段階審査に要する審査人日を提案し、入力する。</p>
31	<p>第二段階審査の実施日を提案し、入力する。</p>
32	<p>技術専門家又は通訳の追加の必要性を含めて、第二段階審査の審査チームがもつことが望ましい構成／力量について入力する。</p>
33	<p>適切な欄を選択することによって、認証構造（すなわち、シングルサイト、マルチプルサイト、キャンパス、セベラルサイト、コンプレックス組織）を検証する。</p> <p><b>注記</b> “コンプレックス組織”として特定された認証構造に対して、認証構造オーバーサイト分科委員会（CSOC）合意（SJAC 9104-1 8.1.3 参照）を検証する。</p>
34	<p>適切な欄を選択することによって、QMS の統合レベルを特定する（SJAC 9104-1 8.2.3 参照）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 統合されている                      －レベル：80%より大きい</li> <li>● 部分的に統合されている       －レベル：50%以上 80%以下</li> <li>● 統合されていない               －レベル：50%未満</li> <li>● 適用外</li> </ul>
35	<p>組織の代表者の氏名を入力する。</p>
36	<p>審査チームリーダーの氏名及び日付を入力する。</p>
37	<p>組織の代表者との合意に基づき、審査報告書のコピーの配付を受け取ることが望ましい個人の氏名を入力する。</p>

## SJAC 9101F 様式 1: 審査報告書（第一段階審査用）

**注記** この様式は、更なる詳細な情報を提供するために、添付資料を使用して補足してもよい。添付資料が提供された場合、様式の各欄に、当該内容を要約した形で情報を記載し、各添付資料について言及することが望ましい。単に“添付参照”と記載することは許容されない。全ての情報は、**SJAC 9104-1**に従って OASIS データベースに入力される。

SJAC9101F 様式 2： QMS プロセスマトリックス報告書

様式 2： QMS プロセスマトリックス報告書 記入要領	
項目番号	記入内容
1	審査を実施する認証機関（CB）の名称を入力する。
2	IAQG のロゴ（初期設定）を使用する。または、 <u>審査を実施する</u> CB のロゴ（任意）を入力する。
3	受審組織の名称を入力する。
4	関連する審査報告書番号を入力する。
5	この様式を完成した日付を入力する。
6	該当する認証構造を選ぶ（すなわち、シングルサイト、マルチプルサイト、キャンパス、セベラルサイト、コンプレックス組織）。
7	審査基準に使用した該当する航空宇宙品質マネジメントシステム（AQMS）規格（すなわち <b>9100</b> , <b>9110</b> , <b>9120</b> ）を選択し、規格の版を入力する。
8	<p>審査した組織のプロセスを入力する（<b>4.2.2.5</b> 参照）。</p> <p>例は次のとおり。ただし、これらに限定されない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設計</li> <li>● 製造</li> <li>● 購買</li> <li>● 内部監査</li> </ul> <p><b>注記</b> 記入欄よりもプロセスが多い場合は、追加の様式を使用することができる。</p>
9	欄 8 で示すプロセスに合わせて完成させるプロセスの有効性評価報告書（PEAR） 番号を入力する。 <b>9100</b> シリーズ規格（すなわち、 <b>9100</b> , <b>9110</b> , <b>9120</b> ）の箇条 8 に関連しないプロセスについて、“適用外（N/A）”を入力する。
10	受審組織のサイト名を入力する（必要な場合は、行を追加する。）。
11	受審サイトの Online Aerospace Supplier Information System (OASIS)での識別番号（OIN）を入力する（必要な場合は、行を追加する。）。
12	必要な場合、サイト/OINによって審査されたプロセスの該当するボックスにチェックマークを入れる。
13	欄 8 で示されたプロセスに対するプロセス有効性レベルに該当するボックスにチェックマークを入れる。プロセスが、複数のサイトを含む場合、評価されたさまざまなサイトの最低値を入力する。N/A（欄 10 参照）とマークした欄について、“プロセス有効性レベル”を空欄にする。
14	<p>各プロセスについて、適用される <b>9100/9110/9120</b> の項目を、次のように入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 項目への“<b>適合</b>”を示す場合、“<b>C</b>”と入力する。</li> <li>● 項目への“<b>不適合</b>”を示す場合、“<b>N</b>”と入力する。</li> <li>● “<b>評価外</b>”を示す場合“<b>N/E</b>”と入力する。</li> <li>● “<b>適用外</b>”を示す場合、“<b>N/A</b>”と入力する（<b>9100</b> シリーズ規格 <b>4.3</b> 参照）。</li> </ul> <p><b>注記</b> プロセスに直接関連しない項目に対しては、空白とする。“<b>N/A</b>”と記入してもよい。</p>
15	参照及び分類として、不適合報告書（NCR） の番号を記入し、重大な不適合には“ <b>Ma</b> ”又は軽微な不適合には“ <b>Mi</b> ”と入力する [例えば、NCR #01 (Ma)] 。
16	該当する規格の箇条 <b>4</b> , <b>5</b> , <b>6</b> , <b>7</b> , <b>9</b> 及び <b>10</b> の客観的証拠の概要を記入する。箇条 <b>8</b> の客観的証拠は PEAR に入力する。適合及び不適合の記述欄を含む、関連するオーディット・トレイル及び審査したプロセスに関連する審査証拠（すなわち、審査に関連し、検証可能な要因又は情報の記述）をまとめる。
17	マトリックスを記入した審査員氏名を入力する。

## SJAC9101F 様式 2：QMS プロセスマトリックス報告書

**注記** この様式は、更なる詳細な情報を提供するために、添付資料を使用して補足してもよい。添付資料が提供された場合、様式の各欄に、当該内容を要約した形で情報を記載し、各添付資料について言及することが望ましい。単に“添付参照”と記載することは許容されない。全ての情報は、**SJAC 9104-1**に従って OASIS データベースに入力される。

SJAC 9101F 様式 3 : プロセスの有効性評価報告書 (PEAR)

様式 3 : プロセスの有効性評価報告書 (PEAR) 記入要領	
項目番号	記入内容
1	審査を実施する認証機関 (CB) の名称を入力する。
2	IAQG のロゴ (初期設定) を使用する。または、審査を実施する CB のロゴ (任意) を入力する。
3	受審組織の名称を入力する。
4	組織のサイトを入力する。
5	受審組織の Online Aerospace Supplier Information System (OASIS) での識別番号 (OIN) を入力する。
6	プロセスの有効性評価報告書 (PEAR) 番号を入力する。
7	審査報告書番号を入力する。
8	受審組織に対して PEAR が発行された日付を入力する。
9	組織によって定義された評価対象プロセスの名称を入力する。
10	プロセスに対して責任がある、任命された権限をもつ人又は部門名 (例えば、プロセスオーナー) を入力する。
11	審査基準に使用された航空宇宙品質マネジメントシステム (AQMS) (すなわち、9100, 9110, 9120) を選択し、規格の版を入力する。
12	このプロセスに対する 9100/9110/9120 の筆頭箇条を入力する。
13	プロセスのインプットを入力する。
14	プロセスの活動内容を入力する。
15	プロセスのアウトプットを入力する。
16	プロセスの相互関係/インタフェースを入力する。
17	プロセスの結果を決定するために組織によって使用された方法を入力する。
18	プロセスに関連する主要なキーパフォーマンス指標 (KPI) を記入する。KPI を四つ以上入力する必要がある場合は、行を追加する。
19	関連するパフォーマンス目標、測定された実績、及びプロセスの結果の決定を裏付けるコメントを入力する。KPI の数が四つ以上ある場合は、行を追加し、又は最後の行 (欄内で改行して) に入力し、審査に必要な KPI に関連するデータ (目標、実績等) を含める。
20	適合及び不適合の記述欄を含む、関連するオーディット・トレイル及び審査証拠 (すなわち、審査に関連し、検証可能な要因又は情報の記述) をまとめる。 客観的証拠元が複数の場所からなる場合、客観的証拠はその場所を追跡できることが望ましい。
21	審査したプロセスがどの程度有効であるかに応じて、マトリックスの該当するレベル値を選択する。
22	(必要な場合) 選択したプロセスの有効性レベルに関する追加のコメントを入力する。
23	PEAR を記入した審査員氏名を入力する。
24	PEAR を確認する、組織の代表者の氏名を入力する (例えば、プロセスオーナー又は管理責任者)。

## **SJAC 9101F 様式 3 : プロセスの有効性評価報告書 (PEAR)**

**注記** この様式は、更なる詳細な情報を提供するために、添付資料を使用して補足してもよい。添付資料が提供された場合、様式の各欄に、当該内容を要約した形で情報を記載し、各添付資料について言及することが望ましい。単に“添付参照”と記載することは許容されない。全ての情報は、**SJAC 9104-1**に従って OASIS データベースに入力される。

SJAC 9101F 様式 4 : 不適合報告書 (NCR)

<b>様式 4 : 不適合報告書 (NCR) 記入要領</b>	
項目番号	記入内容
1	審査を実施する認証機関 (CB) の名称を入力する。
2	IAQG のロゴ (初期設定) を使用する。または、 <del>審査を実施する</del> CB のロゴ (任意) を入力する。
3	受審組織の名称を入力する。
4	受審組織のサイト名及び Online Aerospace Supplier Information System (OASIS) の識別番号 (OIN) を入力する。
5	関連する審査報告書番号を入力する。
6	不適合報告書 (NCR) 番号を入力する。
7	組織に対して NCR が発行された日付を入力する。
8	審査基準に使用された航空宇宙品質マネジメントシステム (AQMS) (すなわち, <b>9100</b> , <b>9110</b> , <b>9120</b> ) を選択し, 規格の版を入力する。
9	不適合が指摘された要求事項/箇条を入力する。
10	審査したプロセス/領域/部門を入力する。
11	<b>SJAC 9101</b> 規格の <b>3.3</b> 及び <b>3.4</b> の定義に従い, 不適合の区分 [すなわち, 重大 (Ma) , 軽微 (mi) ] を入力する。
12	不適合状態の詳しい内容を入力する。審査員と組織との間で, 不適合に対して共通の理解が得られていることを確実にする。
13	該当する客観的証拠, 観察した状態を入力する [例えば, 不適合文書の識別, 測定・試験装置の識別, 適用される手順に従って処理されていなかった作業指示書の識別, 該当するプロセスの有効性評価報告書 (PEAR) 番号] 。
14	審査員は, 即時の封じ込め処置が要求されるかどうか “Yes” 又は “No” を示す ( <b>SJAC 9101</b> 規格 <b>4.2.4</b> 参照) 。
15	審査員は, 適切な組織からの回答期限を入力し ( <b>SJAC 9101</b> 規格 <b>4.2.4</b> 参照) , 封じ込め処置がない場合は, “N/A” と入力する。
16	不適合を特定し, 記録した審査員の氏名を入力する。
17	不適合報告書 (NCR) を承認する組織の代表者 (例えば, 品質管理責任者, プロセスオーナー) の氏名を入力する。
18	このセクションは, 封じ込め処置, 修正処置, 根本原因及び是正処置の内容を入力するために使用される。必要に応じて, この欄を拡大してもよい。 審査員は, 修正処置, 根本原因, 是正処置及び完了予定日 (すなわち, <b>18</b> から <b>26</b> 欄の記入) に関連して, 適切な組織からの回答期限を入力する。
19	不適合の内容から, 即時の封じ込めの処置を必要とする場合, 組織は, 不適合の状況/状態を封じ込め, すべての特定された不適合製品を管理するための, 即時の処置 (“fix now”) を入力する。欄 <b>14</b> で “NO” が選択された場合, この欄は空欄にしてよい。
20	組織は, 特定された不適合を修正するためとった処置を入力すること。

SJAC 9101F 様式 4 : 不適合報告書 (NCR)

様式 4 : 不適合報告書 (NCR) 記入要領 (続き)	
項目番号	記入内容
21	組織は、修正処置の完了予定日を入力する。
22	組織は、修正処置の実施完了日を入力する。
23	組織は、不適合の根本原因の内容を詳しく入力する（すなわち、不適合がどのように／なぜ発生したのかも記述する。）。 ほとんどの場合、“単発的事例”又は“指示の欠如”という文言は、他の領域におけるシステム的な要因（例えば、不十分な支援プロセス、又は管理プロセスとなる）があると考えられることから、根本原因として不適切である。
24	組織は、IAQG の一覧表から関連する原因コードを入力する。 <b>注記</b> 原因コードは、IAQG のデータ収集目的に限って使用される。
25	組織は、不適合の再発防止のためにとる処置を入力する。
26	組織は、是正処置の実施完了予定日を入力する。
27	組織は、是正処置の実施完了日を入力する。
28	セクション 2 の責任を負う組織代表者の氏名及び日付を入力する。
29	組織の回答を容認した審査員の氏名（すなわち、セクション 2 のレビュー）及び日付を入力する。
30	是正処置の実施及び、再発防止のためにとった処置の有効性を確認するために、審査員が実施した検証活動の概要を入力する。
31	NCR の完了を確認した審査員の氏名及び日付を入力する。
32	NCR の完了を承認した審査チームリーダーの氏名及び日付を入力する。

**注記** この様式は、更なる詳細な情報を提供するために、添付資料を使用して補足してもよい。添付資料が提供された場合、様式の各欄に、当該内容を要約した形で情報を記載し、各添付資料について言及することが望ましい。単に“添付参照”と記載することは許容されない。全ての情報は、**SJAC 9104-1** に従って OASIS データベースに入力される。

SJAC 9101F 様式 5： 審査報告書

<b>様式 5： 審査報告書 記入要領</b>	
項目番号	記入内容
1	審査を実施する認証機関（CB）の名称を入力する。
2	IAQG のロゴ（初期設定）を使用する。または、 <del>審査を実施する</del> CB のロゴを入力する（任意）。
3	<p>審査の種類について、適切なボックスを選択する（すなわち、第二段階審査、サーベイランス審査、再認証審査、特別審査）。</p> <p>特別審査に対して、認証範囲に影響する技術的及び／又は地理的変更を反映するため又は状況を説明するための適切な詳細とともに、審査の理由を含める（例えば、認証範囲の拡大又は縮小、サイトの増加又は減少、所在地の変更、利害関係者の要求、ある CB から別の CB へ移行、短期予告審査）。</p> <p><b>注記</b> 特別審査が、サーベイランス審査又は再認証審査の一部に含まれる場合、各ボックスにチェックマークを入れる。</p>
4	審査日を入力する。2 日以上の場合は、審査開始日と終了日を入力する。
5	現地審査日数を入力する。...(単位は延べ日数(人・日)...で入力)..
6	審査報告書番号を入力する。
7	審査報告書の作成日付を入力する。
8	組織の名称及び住所を入力する。
9	受審組織の連絡担当者の詳細情報を入力する [すなわち、電話番号、E メールアドレス、組織の担当者の氏名及び役職、Online Aerospace Supplier Information System (OASIS)のデータベース管理者の氏名] 。
10	認証構造を選択する [すなわち、シングルサイト、マルチプルサイト（カテゴリ 1 又は 2）セベラルサイト、キャンパス、コンプレックス組織] 。
11	先進的サーベイランス・再認証手順（ASRP）の適用について、“Yes” 又は “No” を示す。
12	コンピュータを使った審査技法（CAAT）の適用について、“Yes” 又は “No” を示す。
13	該当する場合、報告書を発行する時点で組織が所有する認証（登録）文書の参照番号を入力する。
14	該当する場合、認証の有効期限を入力する。
15	審査チームリーダーの氏名を入力する。
16	審査チームのメンバーの氏名を入力する。
17	オブザーバー [すなわち、審査チームに同行するが審査チームの一員ではない人（見学者、訓練中の審査員）]、技術専門家及び審査員と受審組織代表の間の言語の違いをサポートするためのインタフェースとして任命された通訳がいる場合には、その氏名を入力する。
18	審査基準に使用した航空宇宙品質マネジメントシステム（AQMS）規格（すなわち、 <b>9100</b> 、 <b>9110</b> 、 <b>9120</b> ）を選択し、規格の版を入力する。
19	審査が統合審査であったかどうか “Yes” 又は “No” を示す。
20	文書化した情報が確立され、 <b>9100</b> シリーズ規格 <b>4.4.2</b> によって要求されたとおりに維持されていることを確認するための記載を入力する。

SJAC 9101F 様式 5： 審査報告書

<b>様式 5： 審査報告書 記入要領（続き）</b>	
項目番号	記入内容
21	該当する審査の目的を入力する [例えば、審査基準に対する組織の品質マネジメントシステムの適合性の判定、組織の品質マネジメントシステム（QMS）の能力が、法令・規制要求事項及び契約要求事項を満たすことを確実にしているかについての評価、特定の目的を満たす QMS の有効性の評価、QMS の潜在的な改善領域の特定]。
22	審査範囲を入力する。これには審査（した認証）範囲と境界を含む（例えば、所在地、組織の部門などの単位、審査した活動／プロセス）。
23	“適用外”と決定された、該当する規格（すなわち、 <b>9100</b> 、 <b>9110</b> 、 <b>9120</b> ）の箇条に関する情報を入力し、 <b>9100</b> シリーズ規格の <b>4.3</b> で要求されたとおりに理由を入力する。
24	審査中に発行した不適合報告書（NCR）の合計件数を入力する。これは重大な不適合と、軽微な不適合の不適合報告書（NCR）の件数の合計と等しい。
25	審査中に発行した重大な不適合の不適合報告書（NCR）の件数を入力する。
26	審査中に発行した軽微な不適合の不適合報告書（NCR）の件数を入力する。
27	審査中に作成したプロセスの有効性評価報告書（PEAR）の合計件数を入力する。
28	作成したプロセスの有効性評価報告書（PEAR）の有効性レベル毎の件数を入力する。
29	受審組織の代表者との合意に基づき、審査報告書のコピーの配付を受け取ることが望ましい個人の氏名を入力する。
30	（該当する場合）次に関するコメントを含め、審査結果の概要を入力する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• QMS の有効性及び継続的改善への組織のアプローチ</li> <li>• 該当する要求事項及び期待された結果を満たすための QMS の能力</li> <li>• 審査計画からの逸脱及びその理由</li> <li>• 審査プログラムに影響を与える重大な問題</li> <li>• 特定された場合、未解決の問題</li> <li>• 該当する場合、認証文書及びマークの適切な使用</li> <li>• 内部監査及びマネジメントレビュープロセスの有効性</li> <li>• 認証範囲の適切性に関する結論</li> <li>• 審査目的が満たされていることの確認</li> </ul>
31	審査の結果から得られた、トップマネジメントへの注意喚起が必要となる重要事項／懸念事項の概要を入力する。重要な問題／懸念事項を明確にするために、簡潔な概要を入力する（例えば、重大な不適合、有効性のレベルが低いプロセス）。
32	強みの領域及び、最適な慣行（グッドプラクティス）の概要を入力する。これは単なる審査基準に対する適合性の領域を識別するだけでなく、審査チームリーダーが、特に良く管理され、有効であるとするプロセス、及び／又は最適な慣行（グッドプラクティス）を識別する機会である。 <b>注記</b> これらの項目を視覚化することで、組織内で他部門と適切に共有し、展開することができれば、組織に潜在的な利益をもたらし得る。
33	改善の機会及び／又は観察事項（例えば、取り扱わないと不適合を引き起こし得るもの）の概要を入力する。
34	該当する場合、前回の審査で発行された不適合報告書（NCR）の合計件数を、処置完了した不適合報告書（NCR）及び／又は未完了の不適合報告書（NCR）に分けて入力する（サーベイランス審査の場合）。
35	該当する場合、前回の審査で特定された不適合に対してとられた是正処置の有効性の検証に関して概要を入力する。該当しない場合には、“N/A”と入力する。

SJAC 9101F 様式 5： 審査報告書

<b>様式 5： 審査報告書 記入要領（続き）</b>	
項目番号	記入内容
36	表に OASIS のアップロードを支援する関連情報を入力し、必要な場合はさらに列を追加する。従業員数は、認証範囲に含まれるすべての従業員に基づくものとする。
37	前回の訪問以降の重要な変更に関する情報を入力する（例えば、組織及び／又は施設の主要な変更、QMS の変更、認証範囲の変更、QMS 統合レベルの変更）。組織の QMS の変更の場合には、 <b>9100/9110/9120</b> 規格の箇条番号及び組織の関連する文書を入力する。
38	該当する場合には、計画的な審査のフォローアップに関して、審査チームリーダーと受審組織の代表者との間で合意した取決めを入力する [例えば、封じ込め処置、是正処置及び不適合報告書（NCR）の完了方法、及び、審査の完了に関する他の活動]。
39	<p>審査結果及び該当する各審査種類に基づき、認証の状態についての推薦に関して、該当する欄を選択する。特別審査が、サーベイランス審査又は再認証審査の一部に含まれる場合、認証の推薦は、各審査種類に対してボックスにチェックを入れることが望ましい。</p> <p><b>注記 1</b> サーベイランス審査又は再認証審査に対して、認証の推薦は、組織の既存の範囲に関連させる。</p> <p><b>注記 2</b> 特別審査に対して、認証の推薦は、組織の既存の範囲又は改正された範囲に関連させることができる。</p>
40	組織代表者氏名及び日付を入力する。
41	報告書の最終承認を記録するため、審査チームリーダーの氏名及び日付を入力する。

**注記** この様式は、更なる詳細な情報を提供するために、添付資料を使用して補足してもよい。添付資料が提供された場合、様式の各欄に、当該内容を要約した形で情報を記載し、各添付資料について言及することが望ましい。単に“添付参照”と記載することは許容されない。全ての情報は、**SJAC 9104-1** に従って OASIS データベースに入力される。

SJAC 9101F 様式 6 : 審査報告書 (補足用)

<b>様式 6 : 審査報告書 (補足用) 記入要領</b>	
項目番号	記入内容
1	審査を実施する認証機関 (CB) の名称を入力する。
2	IAQG のロゴ (初期設定) を使用する。または、 <u>審査を実施する</u> CB のロゴを入力する (任意)。
3	<p>審査の種類について、適切なボックスを選択する (すなわち、第二段階審査、サーベイランス審査、再認証審査、特別審査のいずれか)。</p> <p><b>注記</b> 特別審査が、サーベイランス審査又は再認証審査の一部に含まれる場合、各ボックスにチェックマークを入れる。</p> <p>特別審査に対して、認証範囲に影響する技術的及び/又は地理的変更を反映するため又は状況を説明するための適切な詳細とともに、審査の理由を含める (例えば、認証範囲の拡大又は縮小、サイトの増加又は減少、所在地の変更、利害関係者の要求、ある CB から別の CB への移行、短期予告審査)。</p>
4	審査日を入力する。2 日以上の場合は、審査開始日と終了日を入力する。
5	現地審査日数を入力する。
6	審査報告書番号を入力する。
7	審査報告書の作成日付を入力する。
8	受審組織に関する一般的な情報を入力する。 [すなわち、会社名、住所、Online Aerospace Supplier Information System (OASIS) のデータベース管理者]
9	受審組織の連絡担当者の詳細情報を入力する。 (すなわち、電話番号、e メールアドレス、組織の担当者の氏名及び役職)
10	認証構造を選択する。 [すなわち、シングルサイト、マルチプルサイト (カテゴリ 1 又は 2) セベラルサイト、キャンパス、コンプレックス組織]
11	先進的サーベイランス・再認証手順 (ASRP) の適用について、“Yes” 又は “No” を示す。
12	コンピュータを使った審査技法 (CAAT) の適用について、“Yes” 又は “No” を示す。
13	審査チームリーダーの氏名を入力する。
14	審査チームのメンバーの氏名を入力する。
15	オブザーバー [審査チームに同行する人。ただし、審査の役割を持たない人 (見学者、訓練中の審査員など) は除く。]、技術専門家及び、審査員と受審組織代表の間の言語の違いをサポートするためのインタフェースとして任命された通訳者の氏名を入力する。
16	審査基準に使用した航空宇宙品質マネジメントシステム (AQMS) 規格 (すなわち、 <b>9100</b> 、 <b>9110</b> 、 <b>9120</b> ) を選択し、規格の版を入力する。
17	審査が統合審査であったかどうか “Yes” 又は “No” を示す。
18	審査範囲を入力する。これには審査 ( <u>した認証</u> ) 範囲と境界を含む (例えば、所在地、組織の部門などの単位、審査した活動/プロセス)。
19	審査中に発行した不適合報告書 (NCR) の合計件数を入力する。これは重大な不適合と、軽微な不適合の不適合報告書 (NCR) の件数の合計と等しい。
20	審査中に発行した重大な不適合の不適合報告書 (NCR) の件数を入力する。
21	審査中に発行した軽微な不適合の不適合報告書 (NCR) の件数を入力する。
22	審査中に作成したプロセスの有効性評価報告書 (PEAR) の合計件数を入力する。
23	作成したプロセスの有効性評価報告書 (PEAR) の有効性レベル毎の件数を入力する。

SJAC 9101F 様式 6 : 審査報告書 (補足用)

<b>様式 6 : 審査報告書 (補足用) 記入要領 (続き)</b>	
項目番号	記入内容
24	<p>(該当する場合、) 次に関するコメントを含め、審査結果の概要を入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 品質マネジメントシステム (QMS) の有効性及び継続的改善への組織のアプローチ</li> <li>● 該当する要求事項及び期待された結果を満たすための QMS の能力</li> <li>● 審査計画からの逸脱及びその理由</li> <li>● 審査プログラムに影響を与える重大な問題</li> <li>● 特定された場合、未解決の問題</li> <li>● 該当する場合、認証文書及びマークの適切な使用</li> <li>● 内部監査及びマネジメントレビュープロセスの有効性</li> <li>● 認証範囲の適切性に関する結論</li> <li>● 審査目的が満たされていることの確認</li> </ul>
25	<p>審査の結果から得られた、トップマネジメントへの注意喚起が必要となる重要事項／懸念事項の概要を入力する。重要な問題／懸念事項を明確にするために、簡潔で適切な文章を使用する (例えば、重大な不適合、有効性のレベルが低いプロセス)。</p>
26	<p>強みの領域及び、最適な慣行 (グッドプラクティス) の概要を入力する。これは単なる審査基準に対する適合性の領域を識別するだけでなく、審査チームリーダーが、特に良く管理され、有効であるとするプロセス、及び／又は最適な慣行 (グッドプラクティス) を識別する機会である。</p> <p><b>注記</b> これらの項目を視覚化することで、組織内で他部門と適切に共有し、展開することができれば、組織に潜在的な利益をもたらし得る。</p>
27	<p>改善の機会及び／又は観察事項 (例えば、取り扱わないと不適合を引き起こし得るもの) を入力する。</p>
28	<p>表に OASIS のアップロードを支援する関連情報を入力し、必要な場合はさらに列を追加する。従業員数は、認証範囲に含まれる全ての従業員に基づくものとする。</p>
29	<p>前回の訪問以降の重要な変更に関する情報を入力する (例えば、組織及び／又は施設の主要な変更、QMS の変更、認証範囲の変更、QMS 統合レベルの変更)。組織の QMS の変更の場合には、<b>9100/9110/9120</b> 規格の箇条番号及び組織の関連する文書を入力する。</p>
30	<p>組織の代表者の氏名を入力する。</p>
31	<p>審査チームリーダー又は審査員の氏名及び日付を入力する。</p>

**注記** この様式は、更なる詳細な情報を提供するために、添付資料を使用して補足してもよい。添付資料が提供された場合、様式の各欄に、当該内容を要約した形で情報を記載し、各添付資料について言及することが望ましい。単に“添付参照”と記載することは許容されない。全ての情報は、**SJAC 9104-1** に従って OASIS データベースに入力される。